

競技・審判上の注意

1. 本大会は、令和7年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程によりおこないます。
2. 競技の服装は、大会運営規程第23条の規程によります。ユニフォームの背面には、必ず上段に学校名（やや大きく）・下段に府県名を日本語で明記してください。文字の色は上衣に鮮明に映えるものとします。文字列の大きさについては、（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第24条の規定によります。ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦20cm・横30cmの大きさを基準とし、文字の色は黒色または濃紺色とします。
3. 原則として、マッチ（試合）番号優先で進行します。（タイムテーブルに示した順を優先します。）マッチが連続する場合は、10分間以上の間隔をあけます。
4. 選手はマッチのコールがされたら、速やかにコートに入ってください。コートインが著しく遅れた場合は、棄権とみなすことがありますので注意してください。
5. 主審の指示によるウォームアップ（3分間）の後、マッチを始めてください。ウォームアップは、ダブルスの場合はペア同士で、シングルスの場合は対戦相手同士で行ってください。シングルスの際の練習シャトルは主管者で用意します。
6. コーチ席を各コート後方に2席設けます。選手のチェンジエンスに合わせて場所を移動してください。また、監督・コーチは、所定の申請書を提出し承認された者（IDカードを交付された者）のみ認めます。監督・コーチは、試合にふさわしい服装で臨んでください。（選手がコーチ席に入る場合も同様です。）また、コート周辺での情報通信機器（iPad、携帯電話など）の使用は禁止します。
7. 各マッチ中のインターバルは、競技規則第16条第2項の規程によります。インターバル中のコート周辺でのアドバイスは2名以内です。アドバイスはチェンジエンス後におこなってください。また、監督・コーチは、「20秒」のコールがなされたら速やかにコートから離れ、選手はコートに入ってください。
8. 競技中の汗ふきや水分補給は、必ず主審の許可を得てください。ただし、次のサービスが行われるまでのスムーズな流れに影響を与えないような瞬時の汗ふきであれば、主審の許可を得なくても認めます。（主審が遅延行為と判断した場合は警告対象となります。また、瞬時であっても水分補給は必ず主審の許可が必要です。）
コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しませんので、バッグ等を持参し、主審側コートサイドに置き、汗ふき用のタオル・予備のラケット・水分補給用の容器は全て各自のバッグに収納してください。容器は、スクイズボトル・ペットボトルなど、倒れてもこぼれないもの（蓋付き）にしてください。
9. 競技規則第16条第3項による「プレーの中断」以外の中断は認めません。
次のような行為は厳に慎んでください。
 - （1）サービスの遅延行為に関する判定は主審が行います。
 - （2）主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
 - （3）次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。（競技規則第16条）
 - ①息切れなど体力回復の遅延に関わる行為、又は、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
 - ②インターバル中以外に主審の許可なしにコートを離れること。
 - ③故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
 - ④審判員や観客に対しての横柄な振舞い、下品で無礼な態度、言動。
 - ⑤見苦しい着衣でプレーをする。
 - ⑥ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振舞い。
10. シャトルを交換する場合は、主審に申し出てください。主審の判断により交換を行います。
11. 競技フロアへのクーラーボックス（金属やプラスチックなどの堅い物）の持ち込みは認めません。氷嚢の持ち込みは認めますが、保冷バッグ（ソフトな素材でできている物）を用いて

コーチ席にて保管し、使用はインターバル時のみとしてください。

12. 靴底を拭くための雑巾や足拭きマットはコーチ席で保管し、インターバル時のみに使用してください。
 13. 対戦相手、主審とは試合前と試合後に握手をして挨拶することを基本とします。
 14. 審判の判定に対して疑問のある場合は、当該プレイヤーが主審に質問をしてください。ただし、抗議・異議は認めません。
 15. 主審・線審・得点表示係は主管者側でおこないます。また、サービスジャッジは、ダブルス・シングルスともに準決勝以降のマッチに配置します。それ以外のマッチには原則として配置しません。
 16. その他
 - ① 15日(土)・16日(日)・17日(月)の競技開始前に、コート割り当てた練習時間を設けます。割り当てと時間を守って練習してください。
 - ② その他、大会運営上の注意事項については、大会本部の指示に従ってください。
 - ③ 令和7年4月26日付けで世界バドミントン連盟競技規則が改訂され、競技規則第9条における「スピンスービス（通称）」の使用禁止が発表されました。この結果を受けて日本バドミントン協会でも同じような対応を行う旨の連絡がありましたので周知のほどお願いします。
- バドミントン競技規則 第9条 サービス 第1項
- (5) サーバーは、スピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。

一般上の注意

1. 体育館の開場時間は、9：00です。詳しくはタイムテーブルを参考にしてください。
2. 大会役員、運営役員および補助員については、大会関係者ウェアによりIDカードを所持してない場合もあります。ご了承ください。
3. 感染症予防対策について、各校で自衛に努めてください。
4. 上履きと下履きの区別をはっきりさせてください。下履きは靴袋に入れて持ち歩き、下駄箱は使用しないでください。
5. 必要な場所以外への立ち入り、会場施設や備品の破損などは厳に慎んでください。
6. 各自の荷物は、各チームで責任をもって保管してください。また、更衣室には荷物を置かないでください。（盗難が発生しても、大会本部は責任を負いません。）
7. 会場内の電源使用は一切できません。また、フラッシュを用いての写真撮影は禁止です。
8. 全国高体連の申し合わせ事項についての確認です。

応援については、プレーの妨げだけでなく、放送が聞こえず運営に支障が出ること、周囲の観客への迷惑といった理由により、着席のうへ拍手、手拍子、声援、掛け声のみとし、歌および楽器や音を発する道具の使用を禁止したうえで、次の通り制限を設けます。

○ゲーム中はインプレー終了から、サーバーかレシーバーが次のプレーのため構えをとるまでの間、マッチ前とインターバル中は10秒程度の長さで一度まで、中断時は禁止とします。監督が責任を持って事前に指導してください。なお守られない場合は、レフェリーより監督へ改善を求めることがあります。
9. 体育館内外ともに、競技フロア以外ではラケットやシャトルを使った一切の練習を禁止します。
10. 飲食物・ゴミなどの後始末は、各チームの責任で行い、持ち込んだ物については、必ず各自で持ち帰ってください。
11. 大会が終了しましたら、IDカードは各自お持ち帰りください。

宿泊・弁当について

1. 宿泊・弁当については、東武トップツアーズが担当します。
2. お弁当引き換え時間は１１時（予定）～１３時とし、１５時（予定）に引き取りにきます。引取時間（１５時）までに弁当の空き箱を指定の場所まで持ってきて下さい。

優勝杯・優勝盾返還式および表彰式について

1. 開会式・閉会式は、簡略化形式とします。ただし、優勝杯・優勝盾返還式は会場で行います。前年度優勝杯返還者は返還の要領について、あらかじめ役員の指示を受けてください。アナウンスが入り次第、優勝杯を持参してフロアまで降りてきてください。
2. 表彰式は、１１月１７日(月)の競技終了後に行います。
3. 優勝杯・優勝盾返還式は、プログラムの「タイムテーブル」を参照してください。

その他の注意点

ＩＤカードについて

1. 複数のコーチを申請し承認された学校は、全てＩＤカードを発行します。館内では必ず身につける、あるいは携帯してください。
2. ＩＤカードを紛失した場合は、必ず本部へ申し出てください。

コーチ申請について

1. シングルスのみ出場する学校については、大会２日目の申請を認めます。それ以外の学校は初日（１１月１５日）に必ず全員のコーチ申請を済ませてください。

体育館の使用について

1. マイクロバスおよびバスで会場に来られる学校は、事前に各府県の委員長を通じて高山（滋賀県委員長）まで連絡をお願いします。保護者などが送迎で来られる場合も必ず駐車場をご利用ください。路上駐車は禁止です。
2. 体育館周辺での外でのアップについては、車の往来に気を付けて行ってください。